

## 第2回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 参加チーム募集に関するよくある質問

平成27年5月8日現在

### 【1. 参加資格について】

問1-1：開催要項の参加資格に「平成27年度高等学校又は特別支援学校高等部に在籍する生徒」と記載されていますが、専攻科に在籍する生徒を含みますか？

(答) メンバー全体の半数未満であれば、専攻科に在籍する生徒も参加可能とします。

### 【2. 参加チームについて】

問2-1：同一校から複数のチームが参加することはできますか？

(答) 可能です。「〇〇高校A」「〇〇高校B」等、チーム名を分けてお申し込みください。ただし、本選に出場できるのは、同一校のうち、予選会で最も上位だった1チームのみです。

問2-2：他校の生徒と一緒にチームを組んで申し込むことはできますか？

(答) 複数校で編成する連合チームも可能です。なお、申込み時に学校長推薦書を提出していただきますが、この場合、参加する全ての学校長の推薦書を提出してください。

問2-3：予選審査用に提出した動画のメンバーと本選メンバーは、同一である必要がありますか？また、パフォーマンスをする人数も同一である必要がありますか？

(答) メンバーは、やむを得ない事情がある場合を除き、同一の構成としてください。人数に関しては、多少の変更（例えば、予選6人→本選5人、予選8人→10人など）であれば認めますが、大幅な変更（例えば、予選10人→本選3人、予選2人→本選6人など）は認められません。なお、メンバーに変更が発生した場合は、事務局に連絡の上、速やかに選手集合写真及び参加者情報の修正版を提出してください。

問2-4：チーム編成は、何人まで認められますか？

(答) 生徒は20人以内（引率は10人以内）まで認められます。舞台の有効スペースは、間口15m、奥行9mですが、客席から手話や表情が見やすいのは、間口12m、奥行6m程度ですので、有効スペースに留意して、編成及びパフォーマンスを構成してください。

### 【3. パフォーマンスについて】

問3-1：予選審査用のパフォーマンスと本選のパフォーマンスは、同一の作品である必要がありますか？

(答) 異なる作品でも構いません。ただし、志向の全く異なる演技（演劇→漫才など）に変更することは認められません。

問3-2：発表するパフォーマンスは、未発表作品である必要がありますか？過去に市のイベントで披露していたり、動画投稿サイト等で公開していたりしても問題ありませんか？

(答) 既公開、未公開は問いません。ただし、昨年度の予選会又は本選で披露した作品と全く同じ内容とすることは望ましくありません。なお、昨年度の予選会又は本選で披露した作品を発展的に改良することは問題ありません。

問3-3：音楽を流しながら手話を使って音楽の歌詞を表現する場合、著作権関係の手続きは必要でしょうか？

(答) 音楽の著作権処理は基本的に主催者側で行いますので、参加チーム側での手続きは不要です。

問3-4：本選で音楽を使用する場合、当日CDを持参すればよいですか？

(答) 会場の設備で事前確認しますので、お手数ですが、事前に事務局へ送付してください。

問3-5：プロジェクターを使って、ステージのバックに映像を流しながらパフォーマンスをすることはできますか？

(答) 可能です。ただし、上映を希望する映像は、パソコンで視聴できるファイル形式でDVDディスクに保存し、事前に事務局へ提出してください。なお、映像に関しては、著作権、第三者の肖像権及びプライバシーの権利を侵害することのないように注意してください。

問3-6：プロの漫才師の漫才やコントを手話で表現したものを発表作品としてもいいですか？

(答) 漫才やコントはオリジナル作品としてください。ただし、落語については古典、新作は問いません。なお、差別的表現、わいせつ表現、特定の個人・団体の誹謗中傷等、大会にふさわしくない内容が含まれると当実行委員会が判断した場合、審査対象外とします。

問3-7：発表する際の服装に指定はありますか？仮装したり、着ぐるみを着てパフォーマンスをしても問題ありませんか？

(答) 発表する服装に指定はありません。仮装や着ぐるみを着てのパフォーマンスも可能ですが、公序良俗に反するもの、第三者の権利を侵害するものなど、大会の趣旨にふさわしくないと当実行委員会が判断した場合、審査対象外（失格）とします。

問3-8：場面に応じて舞台上に登場したり退場したりと、パフォーマンス中に人数が変わってもいいですか？それとも、常に全員が舞台上に出ている必要がありますか？

(答)常に全員が舞台上に出ている必要はありません。演出上、パフォーマンスの途中に登場したり、舞台から退場したりといったことも問題はありません。ただし、メンバー全体で上限の20人を超えることは認められません。なお、予選審査用のパフォーマンスは、(同時でなくても構いませんが)必ずメンバー全員を登場させてください。

#### 【4. 参加日程について】

問4-1：前日の交流会は必ず参加しなければいけませんか？

(答)交流会への参加は任意ですが、せっかくの他校との交流の機会ですので、是非ご参加ください。

問4-2：大会が連休に行われる上、本選出場が決まるのが大会の約2か月前ということなので、宿泊先が確保できるかどうか不安です。主催者側で宿泊先の斡旋はありますか？

(答)開催日が連休中のため、本選に出場する各チームの宿泊先を見つけることが難航するおそれがあることから、県内の旅行業者と提携し、特に県外からの出場チームの宿泊先を一定数確保しています。詳細は、出場決定通知の際に宿泊先の斡旋等の案内をしますので、是非ご利用ください。(宿泊料金はシングル1泊朝食付き9,000円以内、ツイン1泊朝食付き8,000円(税込)以内、相部屋1泊朝食付き7,500円以内を予定しています。)

#### 【5. 応募方法について】

問5-1：予選審査用の動画(3分以内版)は、本選の演技時間(8分以内)の動画を短く編集したものでなければいけませんか？

(答)必ずしも、本選の演技時間(8分以内)の動画を短く編集する必要はありません。なお、問3-1のとおり、志向の全く異なる演技(演劇→漫才など)でなければ、予選審査用のパフォーマンスと本選のパフォーマンスは、同一の作品である必要はありません。

問5-2：既に提出した動画を修正したいのですが？

(答)動画を修正することがないように十分に確認の上、提出してもらうことが望ましいのですが、やむを得ない場合、応募期間内であれば、動画の修正は可能とします。なお、応募期間を過ぎた場合の修正は認められません。

問5-3：字幕用のテキストデータについて、演技内容の音声部分(歌詞、台詞等)をテキストにすることとされていますが、演技中に使用する曲の歌詞をテキストにする必要がありますか？

(答) 演技中に使用する曲の歌詞が演技の内容とは関係がない(曲を単にBGMとして流しているだけ)部分については、テキストにする必要はありませんが、歌詞が演技内容に関連する場合は、歌詞もテキストにしてください。

## 【6. その他】

問6-1: 優勝チーム及び鳥取県チーム(上位チーム)は、東京都で開催される「情報アクセシビリティフォーラム」で演技することとなっていますが、これはどういう意味ですか?

(答) 本選ですばらしい演技を披露したチームについて、大会の枠を超えて、東京都(秋葉原)で開催される同フォーラム((一財)全日本ろうあ連盟主催)にて、全国の皆様の前でもう一度、そのすばらしい演技を披露してもらおうとするものです。皆様にとってのもう1つの貴重な晴れの舞台となると思いますので、是非、このことも大きな目標の1つとして、練習を頑張ってください!